

明石工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	都市景観計画
科目基礎情報						
科目番号	0023		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建築・都市システム工学専攻		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	適宜関係資料を配布する					
担当教員	水島 あかね					
到達目標						
(1)都市空間を成立させる基礎的な仕組みと地形について理解ができる。(F) (2)景観の地域性を理解し読み取ることができる。(G) (3)地域環境の価値と景観計画について理解できる。(H)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	都市景観の定義と専門用語を理解し調査分析を充分居に行うことができる。		都市景観の定義と専門用語を理解し調査分析を行うことができる。		都市景観の定義と専門用語を理解し調査分析を行うことができない。	
評価項目2	都市景観計画に関連する計画の考え方、都市の諸課題と景観との調和手法について充分居に理解できる。		都市景観計画に関連する計画の考え方、都市の諸課題と景観との調和手法について理解できる。		都市景観計画に関連する計画の考え方、都市の諸課題と景観との調和手法について理解できない。	
評価項目3	都市景観計画の基礎調査を実施し十分な結果を発表できる。		都市景観計画の基礎調査を実施し結果を発表できる。		都市景観計画の基礎調査を実施し結果を発表できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育目標 (F) 学習・教育目標 (G) 学習・教育目標 (H)						
教育方法等						
概要	この授業では、都市景観を成り立たせている景観要素に着目し、景観の創造のために必要とされる基礎的な計画理論を学習する。都市空間を読み解き、計画および設計の手法、全体を総合化する計画論を主な柱とする。この科目は民間シンクタンク等で都市景観に関わる業務に従事していた教員がその経験を活かして授業を行うものである。					
授業の進め方・方法	この授業では講義とディスカッションにより景観計画に関する理解を深める。次に近隣地域を対象に現地調査を行い、その景観的特徴を捉え、その景観計画を考える。定期試験は実施しない。					
注意点	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 都市景観を学ぶ意義について考える		都市景観計画とは何かを理解する	
		2週	風景から景観へ 歴史の中で培われた風景や景観を取り巻く概念について考える		風景や景観を取り巻く歴史的背景を理解する	
		3週	歴史的景観の保存と形成 歴史的景観の保存と形成について考える		歴史的要素の保存と周辺景観の形成に関する計画・設計手法を理解する	
		4週	集落景観と生活景 生活と結びついた景観について考える		生活景について理解する	
		5週	作られるイメージと都市景観 消費される景観について考える		都市のイメージについて理解する	
		6週	災害と都市景観 復興計画と景観について考える		復興計画と景観について理解する	
		7週	景観と価値 路上観察等により見出される景観の価値について考える		路上観察やまちあるきによる景観把握について理解する	
		8週	コミュニティと都市景観 景観を守る主体について考える		地域コミュニティと景観について考える	
	4thQ	9週	身近な景観 身の回りの景観について考える		身近な地域の景観計画の実態を理解する	
		10週	現地調査 1 都市景観を検討するための調査方法を学ぶ		景観調査の方法が理解できる	
		11週	現地調査 2 グループに分かれて現地調査を行い景観的課題を抽出する。		調査を行い景観的課題を抽出することができる。	
		12週	現地調査 3 グループに分かれて現地調査を行い景観的課題を抽出する。		調査を行い景観的課題を抽出することができる。	
		13週	現地調査 4 調査結果をまとめる		抽出した景観的課題を評価し、景観計画を作成することができる	
		14週	現地調査報告会 調査結果と考えた景観計画を発表し、議論する		グループで考えた景観計画を発表し、クラスで議論することができる。	
		15週	これからの都市景観を考える これまでの授業を振り返る		今日の都市景観計画が抱える課題について、提案や意見などを交えて議論をおこなうことができる。	

		16週	期末試験実施せず		期末試験実施せず		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合							
	レポート		現地調査課題	発表	ミニレポート	合計	
総合評価割合		50	30	10	10	100	
基礎的能力		10	0	0	5	15	
専門的能力		30	30	5	5	70	
分野横断的能力		10	0	5	0	15	